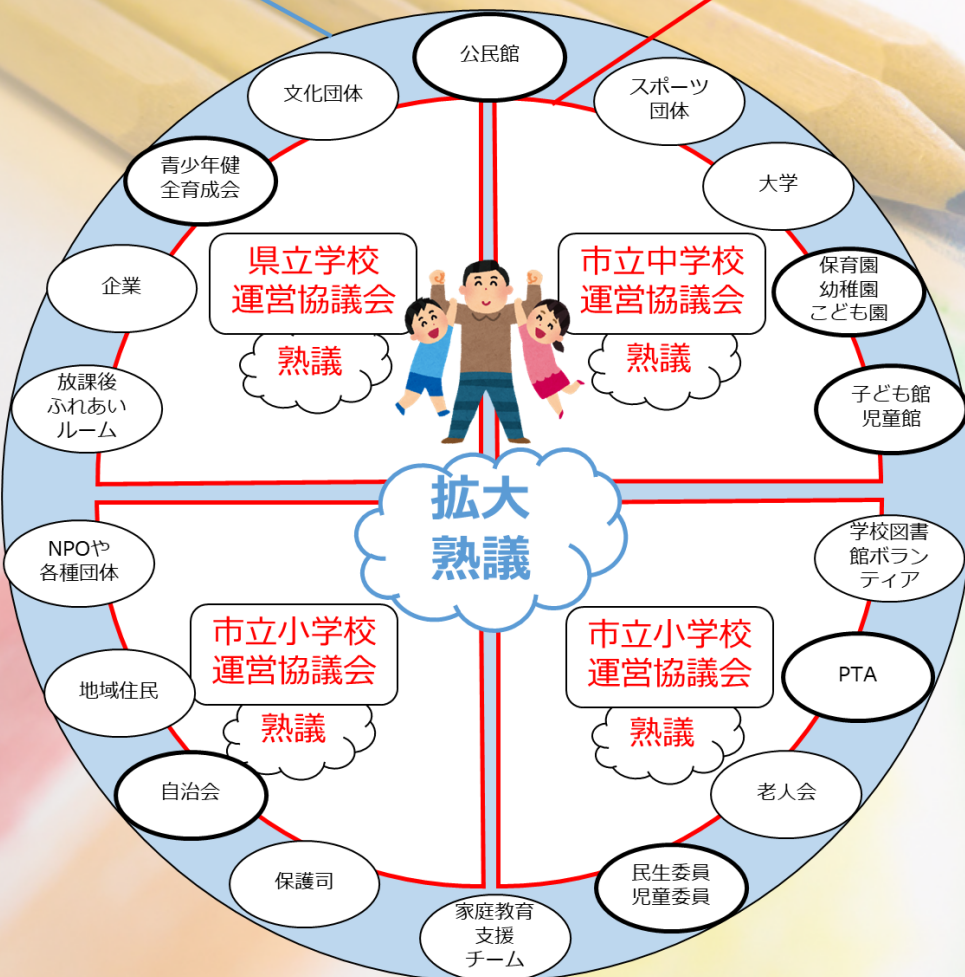


橋本市が目指す共育コミュニティの姿 ～ イメージ図 ～

学校の運営方針を核に（教育目標や研究テーマ）

共育コミュニティ
（地域学校協働活動）
…めざす地域像・子ども像の共有

学校運営協議会
（コミュニティ・スクール）
…めざす学校像・子ども像の共有



※イメージ図は、2小学校、1中学校、1県立学校の中学校区を想定。
共育コミュニティ…コーディネーターを中心に各学校や各学校運営協議会、各種団体と連携・協働した活動。
共育コミュニティ本部…各校園、各種団体代表（太枠は一例）等で形成される協議体。

社会に関かれた教育課程の実現に向けて
～総合的な学習の時間・生活科を核とした
カリキュラム・マネジメント～

子どもと大人が共に学び合い、育ち合う橋本市



橋本市教育委員会
令和5年4月

力をつけるか、その力がついた先には何があるか)

(どうつながり、どう支え合い、協働につなげるか)

共育コミュニティ本部…橋本市内に7本部設置され、学校を越えた地域単位で様々な活動を行っています。

未来プロジェクト…E S Dを通して、課題を自らの問題としてとらえ、子どもたちの意見を市政に反映させる取組です。

○教科横断的な視点を持ち、地域の人的資源（協力者等）・物的資源（文化財等）を活用する

○探究のプロセスを反復する。(①課題の設定→②情報の収集→③整理・分析→④まとめ・表現)

価値観や行動の差容

THE NEW YORK TIMES MAGAZINE

6.00	7.00	8.00	9.00	10.00	11.00	12.00	1.00	2.00
------	------	------	------	-------	-------	-------	------	------

ホールコミュニティ・ホールスクールで小中9年間を通した「学びのストーリー」を構築

各教科 地域学校協働活動	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	人的資源 物的資源
国語							新聞記事の比較						新聞記者
社会			津波や震災の教訓							中学校区では 共有コミュニティ本部 、 学校では 学校運営協議会 で作るよ。 子どもや地域住民、職員の願いを 入れるのがポイントだよ。			被災経験者 防災士
数学 算数													
理科				持続可能な取組									企業等
外国語 外国語活動													ALT 地域住民
総合的な学習の時間 生活科													SDGs カードゲーム
美術・技術 図画工作													文化協会
家庭													
保健体育 体育													消防署
音楽													
道徳													大学
特別活動 学校行事 その他													青少年健全育成会
放課後子ども教室 子どもの居場所づくり 共有コミュニティ 公民館 子ども館・児童館 青少年健全育成会 その他													コーディネーター 公民館 地域住民

学びの要はESD

問題発見 → **①課題の設定** → **②情報の収集** → **フィールドワーク** → **③整理・分析** → **④まとめ・表現** → **①課題の設定** → **②情報の収集** → **③整理・分析** → **④まとめ・表現**

学びの深化

探究のプロセスって？

これまでの取組を大切にしながら、学びを深めるために、教科横断的に取り組むことがポイントだよ。①～④を年間で繰り返す。その中で、「未来プロジェクト」を活用して、市に提案もできるよ。

生き方や内面に向かう学び

地域社会貢献に向かう学び

ピクトグラム作成

児童・生徒自身がハンドルを握り両輪を回し、自らの行き先を決め、価値観や行動の変容へ

まとめの検証

通学路調べ・避難訓練

学校の避難所・防災倉庫確認

人的資源や物的資源はどこにあるの？

公民館避難所体験（地域住民とのつながり）

社会参画意識

感染症対策・救急救命

外国人の避難誘導

3 すべての人に健康と福祉を

11 住み続けられるまちづくりを